

世田谷区民会館整備方針（案）について

1 主旨

世田谷区民会館の整備については、本年9月に策定した「世田谷区本庁舎等整備基本設計（案）中間報告」において、区民会館ホールについても接続する東1期棟と同等の構造体Ⅰ類相当で整備することにより、災害時の機能継続の連続性を向上させることとし、耐震性能確保の手法や区民会館の機能向上に関する整備手法について、区の考え方を示し、検討を進めてきた。

この度、区議会での議論や区民説明会等での区民意見等を踏まえ、構造計画や平面計画、区民会館機能の向上、防災計画などを検討し、世田谷区民会館整備方針（案）として取りまとめたので報告する。

2 世田谷区民会館整備方針（案）について

(1) 概要

①基本的方針

世田谷区民会館は、世田谷地域の集会施設であるとともに、全区的な集会機能を持っていることから、区民自治と協働・交流の拠点となるよう、多様な区民活動に対応できる多目的ホールとして整備するとともに、大規模災害時には、世田谷地域の物資等の集積場所などとしても対応可能な施設として整備する。

②配置計画

区民会館ホールは、庁舎を含む建物全体が広場を囲むように配置し、どこからでもアクセスできる動線計画とし、イベント等開催の際に、ホールホワイエ、ピロティ、広場が一体的に利用できる配置とする。

③構造計画

構造体Ⅰ類（ I_s 値0.9）相当の耐震性能を満たすため、区民会館ホールを耐震補強するとともに、楽屋棟を新築することにより、接続する本庁舎と同等の耐震性能を確保し、災害時の機能継続の連続性を向上させる。

④平面計画

ホールを中心に、西側には楽屋機能を、東側には集会室や練習室等の区民活動諸室を、南側には楽屋と練習室をつなぐ出演者用動線を配置し、各機能を明快にゾーニングする。また、誰もが使いやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインに基づいて計画する。

⑤区民会館機能の向上

舞台は、可動式前舞台を新設し、大編成の演奏時に舞台面を大きく使用できるようにし、座席空間は最新の標準レベル程度に拡充する。また、「静けさ」「良い響き」「良い音」を目指し、音響機能の向上を図る。さらに、集会室、練習室を整備し、用途に応じた機能を備えるとともに、ホール使用時の楽屋利用を想定し、舞台への動線を確保する。

⑥防災計画

平時はホールホワイエ、ピロティ、広場を一体的に利用できる設えとし、災害時も機能連携が容易な計画とする。区民会館エリアは、災害時の物資集積場所として、約700㎡の空間を、エントランスホールやホワイエ、舞台を中心に確保する。

⑦概算工事費

区民会館ホール及び楽屋整備に係る概算工事費は、約25.6億円（集会室、練習室等は東1期棟に含まれるため、含まない）。

(2) 世田谷区民会館整備方針（案）

別添資料のとおり。

3 今後のスケジュール（予定）

平成30年11月14日	地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会
12月 上旬	世田谷区民会館整備方針策定
平成31年 2月 上旬	基本設計（案）策定